

場所	課題	意見	事務局 案
ラウンジ	特定の人が長時間利用すること	長時間利用を防ぐ工夫が必要	1. 一部のテーブルで制限時間を設ける 2. 制限時間の設け方のルール ・出張所からの見通しの差でテーブル種類を変え多様な使い方を可とする 中テーブル :4人掛け 大テーブル :8人掛け 個人用カウンター :1×6人掛け ・見通しの良い場所 → 流動性高い → 中テーブル → 長時間利用認めない ・見通しが悪い(出張所から死角になる)場所 → 個人用カウンター → 制限を設け長時間利用を認める → 大テーブル → 制限を設け長時間利用を認める ・制限時間サイン 終了時間が可視化できる効果的なサインを導入
		長時間利用にも対応させたい	
		パソコンなど共同作業で使いたい	
		利用が増えると作業での使用は難しい	
		学習スペース的な要素が必要	
		時間制限を表示する方法はどうか	
		参考 児童センターでラウンジを長時間貸している例あり	
		参考 パレット柏は最長2時間延長不可というルールあり	
参考 沼南の学習室は時間制限なく、利用者が記録簿に氏名等を記載するルールあり			
ラウンジ	軽飲食	自販機で軽食対応できるようにしたい	1. 軽飲食物の持ち込み可とする 2. 飲食に伴うごみは各自持ち帰る 3. 持ち帰れない食べ残しごみは、オープンキッチンで処理する ルールが守られない場合 → 職員への声がけ → センターで対応 4. 自動販売機のメニュー ふる協を中心に検討し第3回で報告
		食べるものの幅を広げると(カップ麺など)清掃頻度が上がり、維持管理コストが上がる	
		パン等ならいいが、カップ麺などの自販機は汁等のごみの問題がある	
		自販機にとらわれず、地域の飲食店を呼ぶ案はどうか	
		子どもには規制のものでなく手作りのものを食べさせたい	
		持ち込みは禁止したほうがいい	
		持ち込み禁止は子育て世代は困る	
		基本的にゴミ箱を置かない方針としたい	
館全体	ごみ, 清掃, ボランティア	基本的にゴミ箱を置かない方針としたい(再掲)	1. 館内にゴミ箱を置かず各自がごみを持ち帰る 2. 施設をきれいに使う環境をソフトとハードで醸成する ソフト → マニュアル ハード → 効果的なサイン、お洒落な清掃グッズ 3. ボランティア希望者の「やってみたい」に応える窓口整備 ・いきいきセンター(社協) → 相談受付、団体設立や企画・運営の後方支援 ・南部近隣センター → 団体の事務連絡窓口
		清掃ボランティアをやりたいと思っている	
		建物周りの清掃もボランティアは有効	
		市民から清掃で役に立ちたいという申し出があった	
		ボランティアをまとめるための仕組みが必要	
		社協でボランティアの育成も行っている	
館全体	イベント・掲示	柏の歴史など、地元に着したイベントを定期的にやってほしい	1. イベントの企画サポート ・いきいきセンター(社協)でサポートする 2. 市民の活動発表の場を通年で設ける ・詳細ルールを第3回で報告する ・活動の活性化をめざし使用料は無料とする
		いきいきセンターは地域要望に沿った講座も実施している	
		社協でボランティアの育成も行っている(再掲)	
		ポスターや掲示物の展示スペースを設けるとよい	
		市民作品展は有料にした方が品位を保てる	